

日本語の歴史的典籍の 国際共同研究ネットワーク構築計画 (略称：歴史的典籍NW事業)



「文正草紙」中巻より



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館

「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」とは？

計画の概要

本計画は、国文学研究資料館が中心となり、国内外の大学等と連携して、古典籍約30万点の画像化を行い、国文学研究資料館に既存の書誌データベースと統合して日本語の歴史的典籍データベースを作成し、その画像を用いた国際共同研究のネットワークを構築するものです。研究分野は国文学のみならず人文学全体、さらには自然科学の諸分野に及ぶもので、分野を超えた横断的な研究成果が期待されます。



本計画のイメージ

実施計画

平成26年度から平成35年度までの10年間で実施します。国際的に共同研究を展開し、併せて共同研究のテーマと連動させながら日本語の歴史的典籍に関するデータベースの構築を進めています。

構築したデータベースは、分野別に順次公開する予定です。

①日本語の歴史的典籍DBの構築

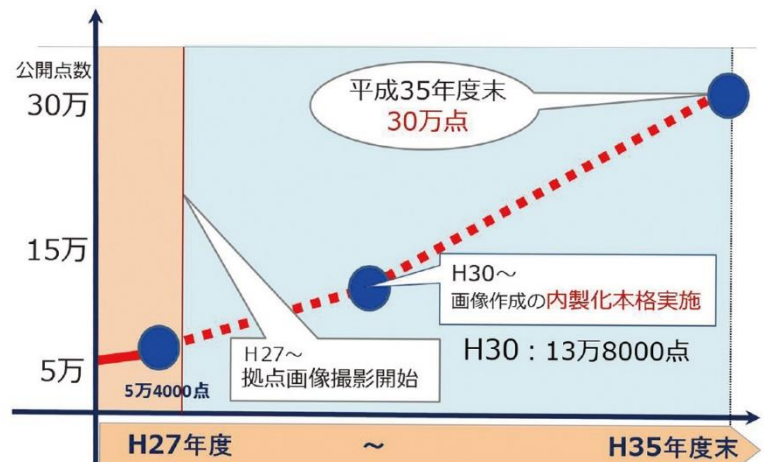
- ◆30万点の画像データの作成
- ◆大規模提供システムの運用
- ◆検索機能の向上・多言語対応

②国際共同研究の推進

- ◆異分野融合研究の醸成
- ◆「総合書物学」の推進・構築

③国際共同研究ネットワークの構築

- ◆連携機関との共同研究体制構築
- ◆先導的な共同研究モデルの構築

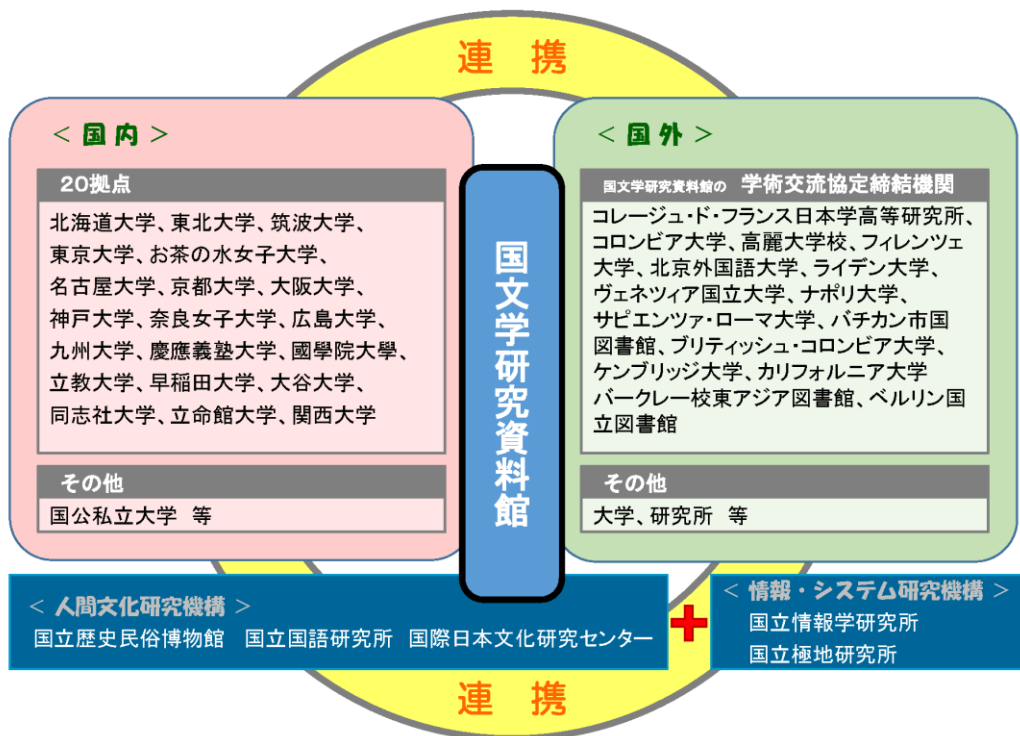


平成27年度に続き、医学・理学・思想分野を中心とした画像作成を当館、拠点大学及び研究機関等において実施。医学・理学分野を中心に、引き続き専門性の高い分野別収集を推進します。平成28年4月以降、平成27年度作成画像を順次公開予定です。

実施体制

平成26年4月に、当館に本計画を推進するために古典籍共同研究事業センターを設置しました。当館のほか、人間文化研究機構の各機関や、国私立大学に設置する20拠点及び国外の研究機関、並びに国立情報学研究所等と連携して本計画を実施しています。

古典籍共同研究事業センターには、事業実施委員会、日本語歴史典籍ネットワーク委員会、国際共同研究ネットワーク委員会、拠点連携委員会を置き、学識経験者や研究者コミュニティの意見をふまえて、本計画を推進しています。



国際共同研究ネットワークのイメージ

期待される成果

古典籍の内容はあらゆる分野に及ぶことから、本計画の実施により諸分野にわたる学術研究の深化と新展開が期待できるほか、古典籍を活用した異分野融合研究の醸成が期待されます。

また、古典籍の画像化は、文化財危機（原本資料の破損・劣化、自然災害による消失等）への対応ともなり、文化財の後世への継承に貢献できることとなります。

「日本語の歴史的典籍」とは？

近代以前（江戸時代末まで）に、日本人により書かれた書物のこと。「古典籍」あるいは「国書」ともいう。漢籍や仏典などは含まれないが、これらの注釈本を日本人が作った場合には国書となる。

国書の所蔵先をまとめた「国書総目録」（昭和47（1972）年本文完成、岩波書店）の情報をもとにした「日本古典籍総合目録データベース」は、国文学研究資料館のデータベースとして既に公開されている。



「人相水鏡集」より

データベース構築・公開により期待される成果

本計画において作成する日本語の歴史的典籍データベースは、古典籍の画像がウェブサイトを通じて公開されることに大きな意味があります。

日本語の歴史的典籍に関する情報は、現在すでに公開されています（例：右上のイメージ）が、その内容は所蔵者や形態の情報（書誌）であり、これだけでは具体的にどのような書物なのかはわかりません。

そこで、この情報に画像を付け加え、どのような書物なのかが目で見えるようにするのが、今回作成するデータベースです。

画像（例：右下のイメージ）が加わるとたとえば、次のようなことがわかります。

- どのような文字で書かれているか。
- 文字や配置の書の技法はどうか。
- 挿絵はどのように入っているか。
- 挿絵に描かれている着物の模様や色はどのようなものか。建物の構造はどのようなものか。

このように、画像でしかわからない情報が多数あり、それらの情報は、さまざまな分野の研究に貢献するものです。

また、このデータベースの公開により、これまでではそれぞれの所蔵機関に出向かなければ確認できなかった情報が、インターネット環境があれば世界中どこからでも確認することができるようになります。

これにより、研究の飛躍的な発展が期待されるだけでなく、一般の方の日本文化に対する関心が高まることも期待されます。

【国文学研究資料館「日本古典籍総合目録データベース」検索結果】



【著作詳細】	
該当件数: 1件 (1-1 件目)	
<input type="button" value="全選択"/> <input type="button" value="全解除"/> <input type="button" value="書誌詳細"/>	
著作ID	217130
統一署名	しづか(しづか)
巻冊	一冊
別書名	【1】 静(しづか) 【2】 しづか物語(しづかものがたり) 【3】 静物語(しづかものがたり)
分類	幸若舞曲
著作注記	<備>日本古典文学大辞典に解説あり。
国書所在	【写】国会、内閣(「しづか物語」、舞の本一四)、京大(「しづか物語」)(一冊内、慶長一四写)、東北大(三冊)、蓬左(江戸初期写)、天理(舞の本二六番の内、五番の内、文禄二写)(舞の本藤井本の内)(室町末期写)、【補遺】日比谷諸家(古版)東洋岩崎(舞の本一五種の内)<明暦四版>東大(二巻一冊)<刊年不明>早大、【復】(活)近代日本文学大系舞の本及古浄瑠璃集・幸若舞曲集・新群書類従八
著作種別	和古書

【画像】



「しづか」下巻より